

『大久保山より古墳時代を探る』

〈実施日〉

令和3年1月19日（火）
26日（火）

- ・ 場所 大久保山・塚本山古墳群
- ・ 新型コロナウイルス感染予防の
為、食事は無し
- ・ 案内人
NPO法人本庄ファンクラブ
今井 玲子
- ・ スタッフ
つきみ荘 倉林 律雄
金子 美穂





身近なパワースポット
ハイキング
『大久保山』

※ 犬の散歩はご遠慮下さい。



浅見丘陵にある大久保山。 最高地点… 105 m

東西南北によって呼び名が違い、東側地域は大久保山、西側は浅見山または東山、南側は琴平山または中山、北側は前山と呼んでいます。昔は三つの市町村にまたがっていて、見る側から名前が違うということでしょうか。大久保山という名前の山は全国に12か所ありますが、その中で一番低い山です。

北側に新幹線の本庄早稲田駅があり、山の敷地はほとんど早稲田大学の所有です。一年を通してウォーキングやジョギングの方たちが行きかいます。

「本庄かるた」

み

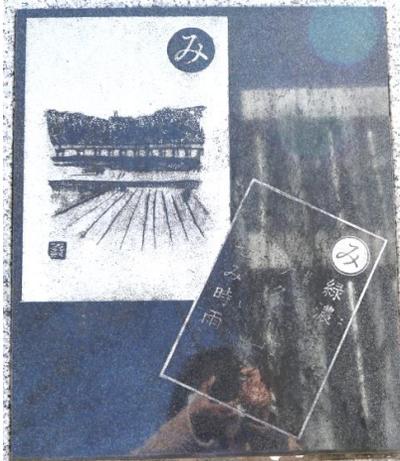
緑濃き

大久保山の

せみ時雨

本庄早稲田の杜ミュージアム

ほんじょうかるた



早稲田リサーチパークの北側

四つの地区に囲まれた西富田の飛び地で、浅見丘陵の北西部にあたり、小字名が大久保山です。
この山にはオオタカが住んでいます、どの木に巣を作っているかはわかりません。高い木を選ぶようですが、毎年作り代えているからです。



オオタカ

オオタカ

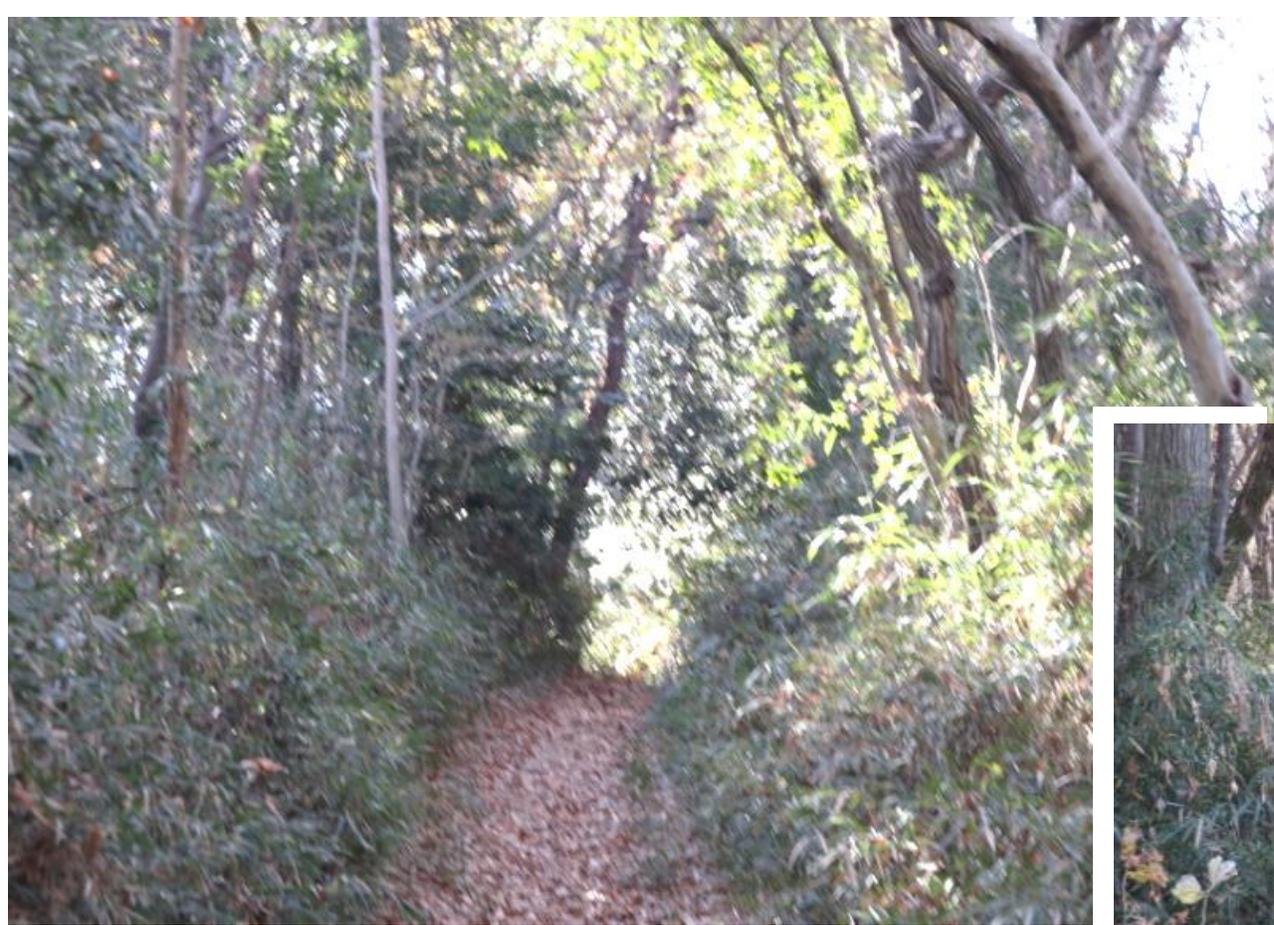
全長50~60 cm
翼開時100~130 cm
水平飛行時時速80 km
急降下時時速130 km

大きいからオオタカというわけではありません。名前の由来は、青みがかった灰色をしていることから「蒼鷹（アオタカ）」に由来します。
希少野生動植物に指定されていましたが、最近では数が急速に回復したため、2017年に希少野生動植物の解除が決定されました。



四方田と下浅見

このあたりは浅見山と呼んでいました。ところが、児玉・美里どちらにも大久保という小字名があります。大久保とは、尾根と尾根の間の大きな窪みのことを指していたようです。そして山の裾野のところは山根といいます。



大久保山の中でも一番標高が高いところは、浅見山と呼ばれていたこの辺で、標高105.5mです。実は頂上ではなくて、通過地点のほうがもう少し高いところがあって、112mなのです。



木々のトンネルを抜けて、手前の道路を渡ると美里町です。そこには小さな古墳がいっぱい。

塚本山古墳群 児玉郡美里町大字下児玉字中山

美里町の北端にあたる塚本山古墳
地元の人達は琴平山とか中山と呼んでいます。

築造…5世紀後半～8世紀初頭（古墳時代後期）
盛興期は6世紀末～7世紀後半





これが塚本山古墳です。
S49、50年の調査では、一部児玉町下浅見内の分も含めて178基「詳細分布調査報告書」（県教育委員会）に記載されています。
小さいもので5 m、最大28 m。
平均15 m程度で、ほとんどが円墳です。
その調査で、横穴式石室を持つ古墳が確認されました。
前方後方形のものがあり、古墳の原形の可能性があるということで、注目されました。
以前は200基以上あったようですが、この古墳群の西側近くには関越自動車道が通っており、その工事に伴って40基近くの古墳が消滅してしまいました。

井戸坂

丘陵の南側は美里町で、琴平山とか中山と呼んでいました。本庄と美里を結ぶこの道が井戸坂で、その一番高いところが中山峠です。今は中山峠を過ぎるとすぐ突き当たってサッカーグラウンドがありますが、昔はもっとのびていて、北向き斜面の下に井戸がかつてはあり、通行人も利用していました。井戸坂の名前はここから由来しているそうです。

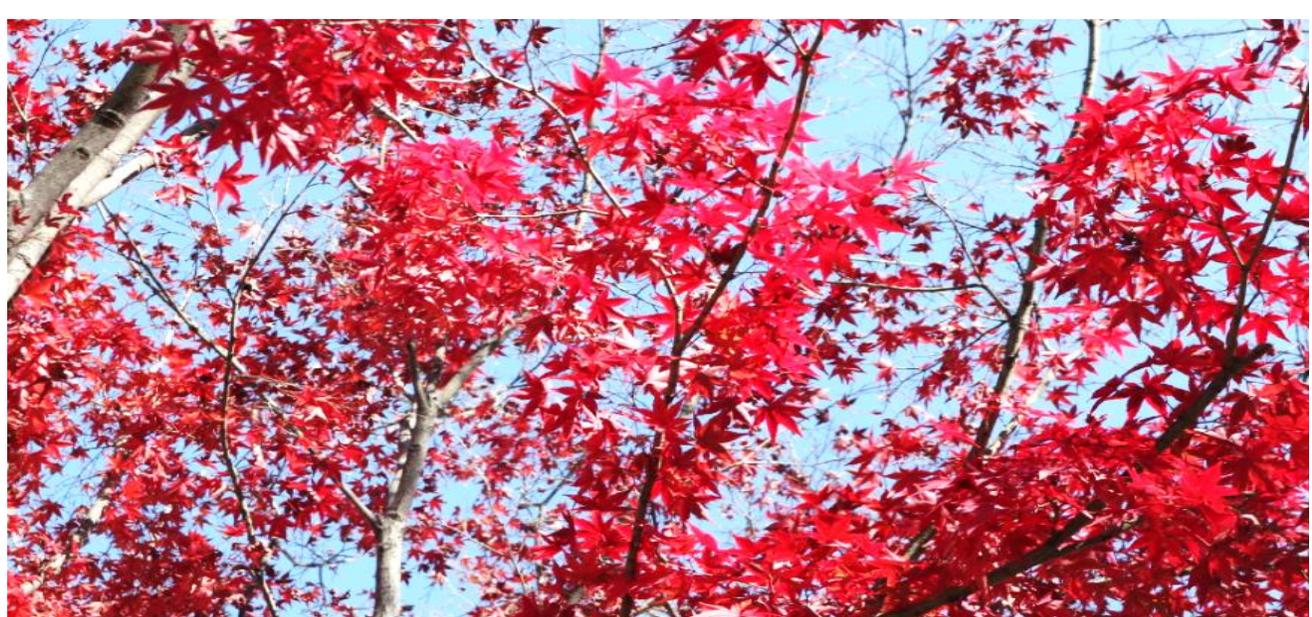
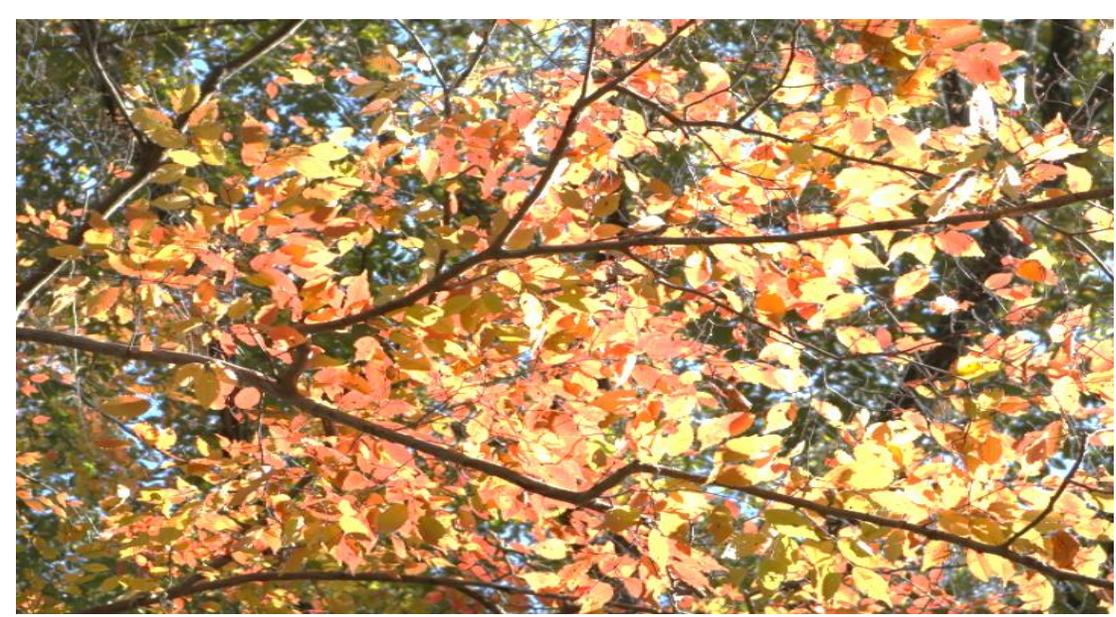
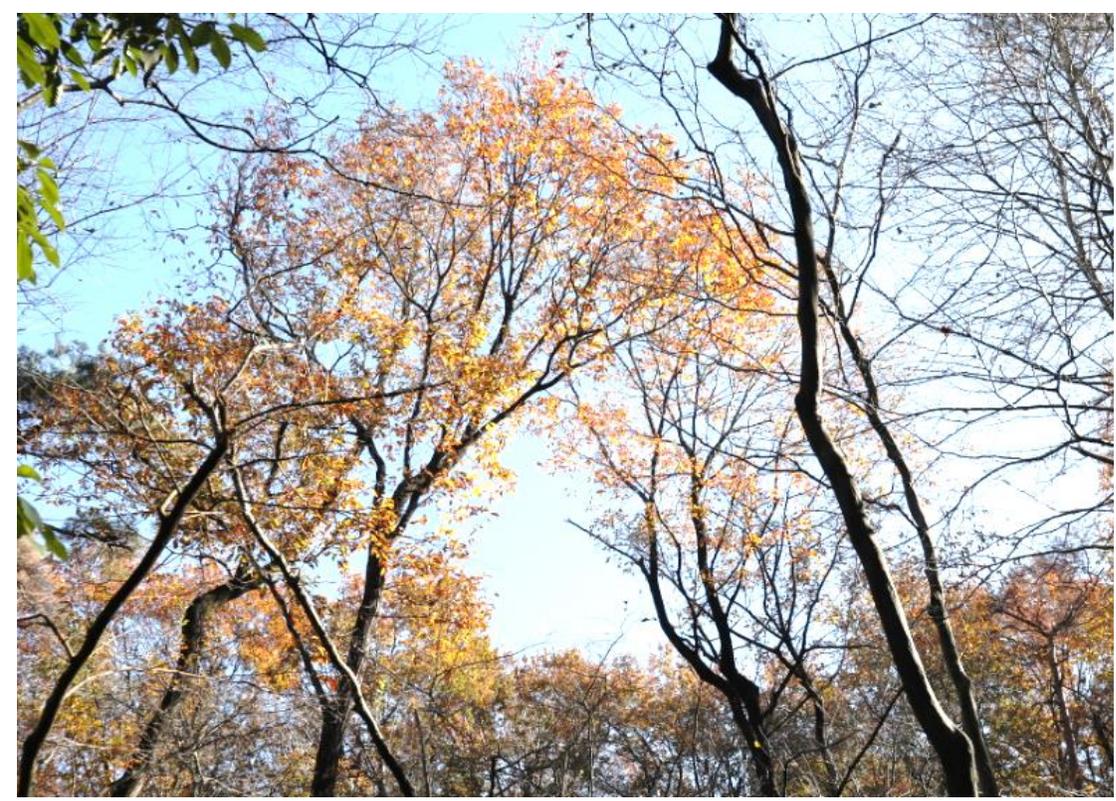
中山峠

山と岳の違いは？

この辺りは標高約85mです。こんなに低くても山と言いますが、峠まであります。とはいっても、大久保岳とはなりません。

特に山と岳の使い分けはないようですが
山…地表面が高く盛り上がったもの
人里に近い
岳…地形の険しい山や連山
人里から離れている
ということで、中山には集落があります。





夏以外の季節はマムシやスズメバチに要注意です。

本庄高等学院には、血清が常備されているそうです。



早稲田大学本庄高等学院

本庄高等学院があるこの地名は
大字栗崎字西谷（にしやつ）です。

栗崎から下浅見に通じる道がありますが、弘法大師(774～835年、平安時代初期)も通ったという伝説があります。

また。中世においては（鎌倉室町）
児玉党の庄氏一族（庄氏・本庄氏・
四方田氏・阿佐美氏など）が行き来
していたのでしょう。

と、書いてあります。
「**まむしに注意**」



埼玉県選定重要遺跡

ひがしやつ

東谷古墳

(前方後円墳)



ひがしやつ
東谷古墳

- * 7世紀代
- * 円墳
- * 直径 27m 高さ 3m
- * 横穴式石室

墳丘上にかつて琴平社が祀られていました。その氏子さんたちによって明治29年に発掘され警察に届出たそうです。

- * 石室の間口1.8m 奥行3.6m
- * 遺物…鉄製太刀一、鍔一、金環二
水晶製切子玉一、管玉一、
土師器片九、須恵器片三
人骨片一
- * 石室の構造
側壁が外側へ弧を描くよう
に膨らむ「胴張型石室」
榛名山起源の角閃石安山岩
を使用



児玉郡・本庄市の

むかしばなし

より

『弘法大師の硯水』



弘法大師が中国から戻ると、お寺を建てる所を探して全国を回っていました。どこでもいいというわけではなく、谷が100あるところではなければなりません。

ある時、大久保山の谷津という、栗崎から児玉町下浅見に通ずる道にさしかかると、のどがかわき錫杖を地面にさし立てたところ、冷たい水が湧き出してきました。

「この場所なら寺の境内にむいている」と大喜びしましたが、よくよく調べてみると、谷は99しかなく、100谷には1つだけ足りません。残念ながらながら他の場所を探し求めて旅立ちました。せっかくなので、この湧き水で墨を磨って記念にお経を書き残しました。こうして「弘法谷」「弘法井戸」の名が生まれたのです。

西光山 無量壽院 宥勝寺

真言宗智山派 京都智積院の末寺

本尊…不動明王

開山…建仁年間（1201～4）



西光山 無量壽院 宥勝寺

真言宗智山派 京都智積院の末寺

本尊…不動明王

開山…建仁年間 (1201~4)



荘小太郎頼家は、武蔵七党のうち見玉党の祖・遠峰惟行から五代目にあたる家長のあととり、つまり六代目です。平家物語によると一ノ谷の合戦（一一八四）で源氏に従い、家長は平重衡を生け捕り戦さで手柄を立てましたが、頼家は討ち死にしました。

頼家の夫人妙清禪尼は出家して、建仁二年（一二〇二）に宥荘寺と供養塔を建立し、夫の冥福を祈りました。

昭和三十八年に県指定文化財になっています。

し
荘小太郎
静かにねむる
宥勝寺



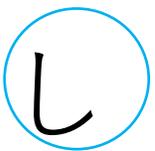
この宍勝寺の南方に、西光寺というお寺がありました。本庄市では数少ない中世寺院跡として埼玉県選定重要遺跡となっています。現在、西光寺の名は、宍勝寺の山号である西光山としてのこっています。







本庄かるた



莊小太郎

静かにねむる

宍勝寺





かなさな

金鑽神社

祭神：天照大神・素戔鳴尊

日本武尊の三柱

栗崎の総鎮守です。雨乞いの神様として知られています。

児玉党の一族莊太郎家長により奉祭されたと伝えられます。

金鑽神社は児玉党の守護神にあたり、党の勢力範囲を示すものです。



埼玉県選定重要遺跡

まえやま

前山1号墳



埼玉県選定重要遺跡

ま え や ま

前山1号墳

- * 4世紀後半 古墳時代の
前期後半
- * 前方後円墳
- * 全長 70m以上
後円部の直径 48m
高さ 7m

4世紀後半で全長70m以上は埼玉県内で最大規模です。周囲に堀がめぐらされていて、その中から土器が検出されました。土器の型式から築造時期がわかります。また、これだけの規模ということは、本庄地域だけでなく、周辺にも広く勢威をおよぼした人物の墳墓のようです。

1号墳の周りには、5号墳まで確認されています。

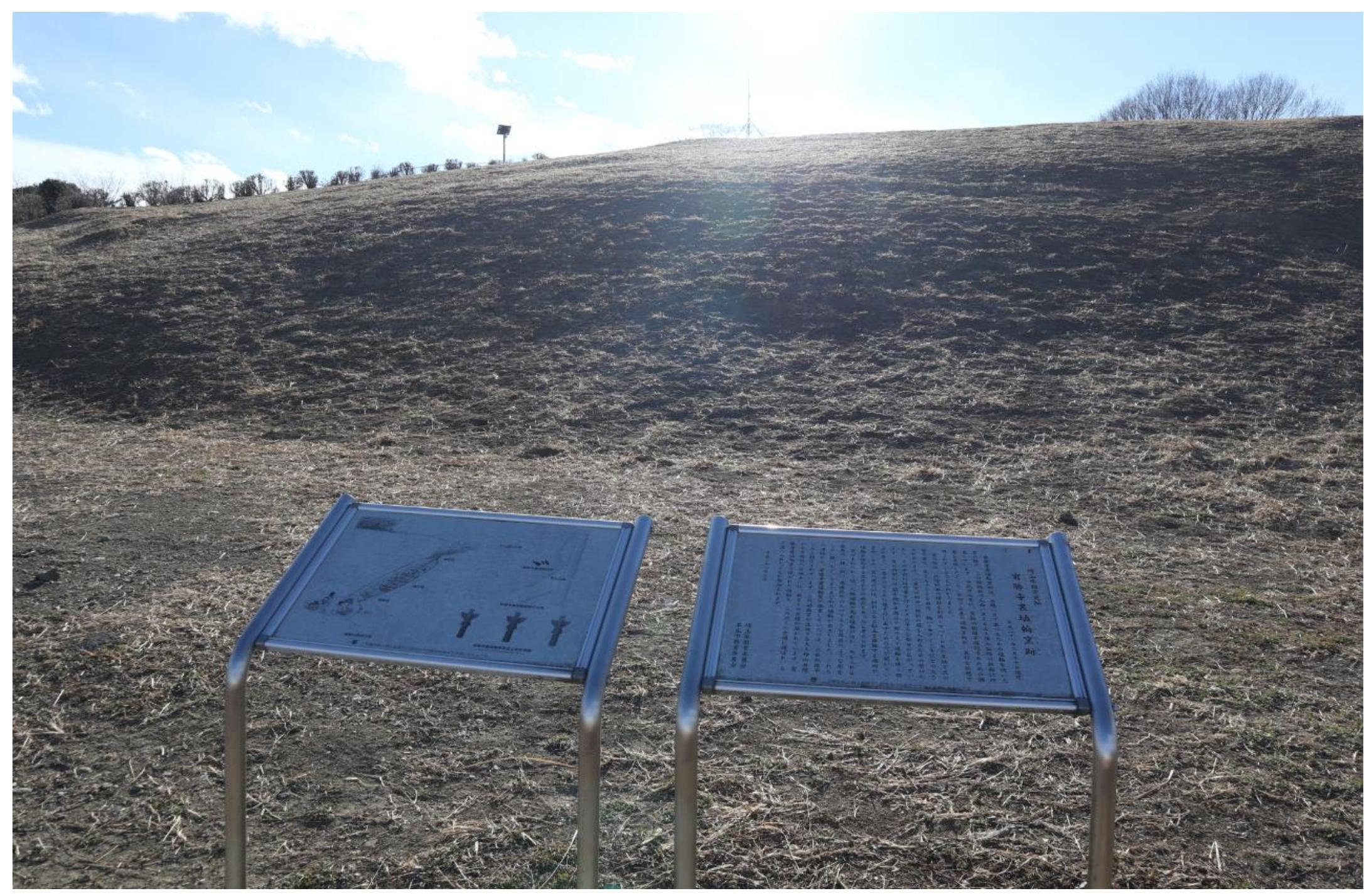


前山1号墳

埼玉県指定史跡

ゆうししょうじはにわかまあと

宍勝寺裏埴輪窯跡

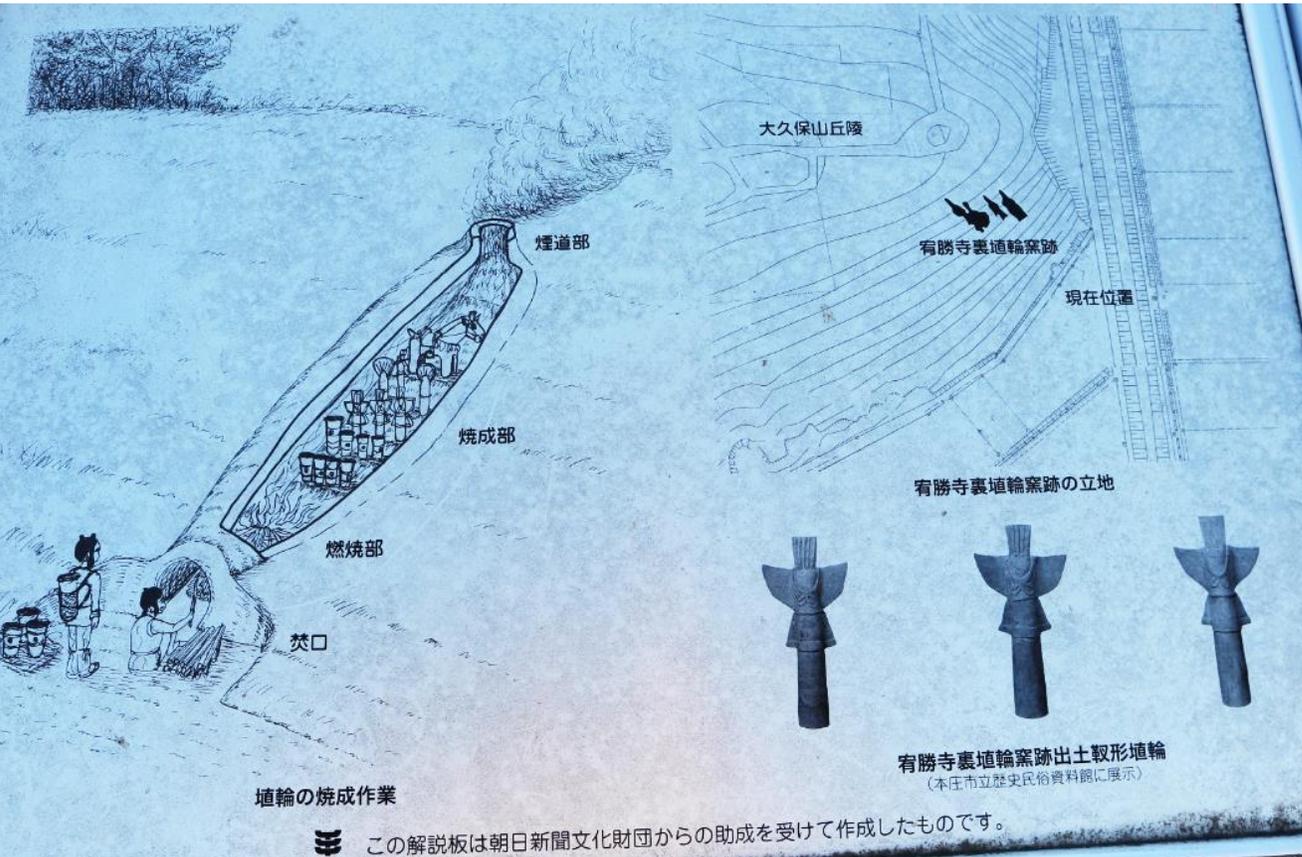


宥勝寺裏埴輪窯跡

丘陵の斜面を利用して作られている半地下式の登り窯が5基発掘されたのが、この窯跡です。人物埴輪や馬形埴輪の他に、鞍形埴輪、鬚形埴輪などができました。こういったものから6世紀後半頃と推定されます。



ゆぎがたはにわ さしばがたはにわ
出土した、鞍形埴輪（4つ）と鬚形埴輪





抜きながら
初日を拝む
元旦マラソン

本庄かるた

初日の出に合わせ、一斉にスタートする元旦マラソン。昭和37年から続いています。



新幹線の線路近くにある



上越新幹線「たにがわ」

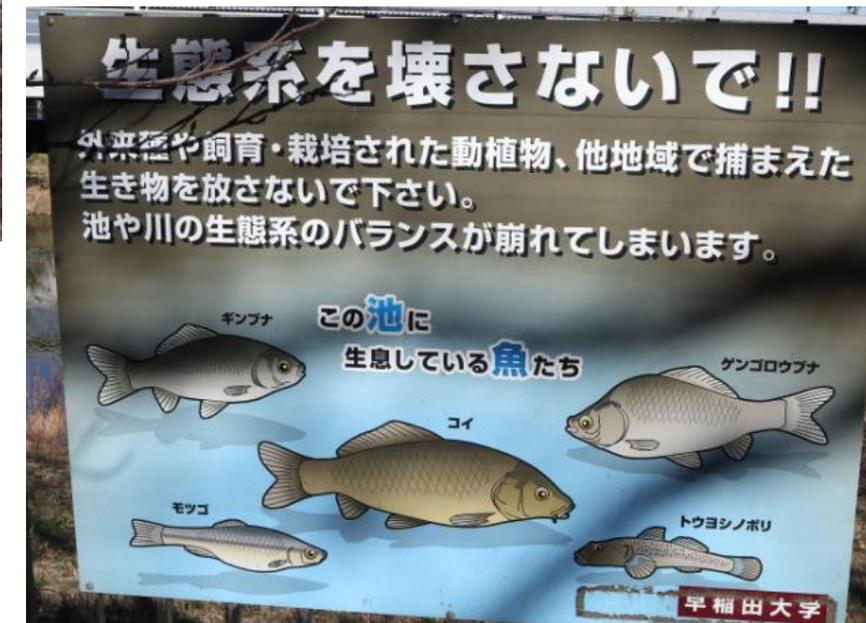
東京から越後湯沢まで走ります。所要時間は1時間30分。
本庄早稲田までは50分。

「とき」は快速なので本庄早稲田にはほとんど停まりません。
MAXたにがわは2階建て。しかし2021年3月で引退の予定です。
2階からの景色を見るのは今のうちです。

調整池



駅の南側にある池は、地元の水田灌漑用につくられた溜池でした。造成年代は不明ですが、明治中期の地形図にはすでに載っているそうです。現在は調整池としての機能が大きく、水田地帯は下久保ダムからの地下パイプラインで導水し、灌漑しています。駅の北側を流れる川は男堀川です。インター西で女堀川から分かれ、全長5 kmほどで、小山川に合流します。





『カインズ』の本社です。
この場所が、浅見山―遺跡です。



男堀川 一級河川

本庄児玉インターの西側で女堀川から分水、本庄総合公園の東で小山川に合流します。水田灌漑用に造られましたが、今は下久保ダムからの水を地下パイプラインによって供給しているので、男堀川は排水路として使われています。



切通

山を切り取って関越自動車道を通しました。
大久保山の西側で、道路の右は児玉町下浅見です。この先は、美里町下児玉です。



『本庄早稲田の杜
ミュージアム』
常設展より

大久保山にある遺跡

- * 浅見山I遺跡 (旧石器時代)
約24,000~22,000年前
- * 宍勝寺北裏遺跡 (縄文時代)
約12,000年前
- * 前山古墳 (古墳時代)
4世紀後半
- * 宍勝寺裏埴輪窯跡 (古墳時代)
6世紀後半
- * 東谷古墳 (飛鳥時代)
7世紀代
- * 塚本山古墳群 (古墳後期)
6世紀後半~7世紀初

- 54 宍勝寺裏埴輪窯跡
- 55 前山I号墳
- 56 前山2号墳
- 57 東谷古墳



■浅見山 I 遺跡出土の旧石器時代の石器

浅見山 I 遺跡では、本庄市および児玉郡内ではじめてハードローム層（旧石器時代の土層）から旧石器時代の石器群が出土しました。尖頭器、ナイフ形石器、彫器、搔器などの石器や石器を作った際に出た剥片が出土しています。単独で出土した頁岩製の彫器 1 点（上段左から 4 番目）以外はすべて黒曜石を用いています。黒曜石の石器は、今からおおよそ 24,000 ~ 22,000 年前のものと推定されています。

なお、自然科学的な方法による分析では、出土した黒曜石の産出地は、長野県和田峠付近、蓼科であるという結果が得られています。

■旧石器時代■

旧石器時代は、基本的に打ち割って作った石器を利器とした時代です。日本列島のほぼ全域に人々が暮らした確かな痕跡が認められるようになるのは、今からおおよそ 38,000 年前の後期旧石器時代からです。この時期は、最終氷期と呼ばれる段階で、寒冷で乾燥した大陸性気候に覆われた日本列島には、ナウマンゾウやオオツノジカなどの今では絶滅した動物が生息し、寒冷な気候に適した植物が繁茂していました。人々は、野山の食用植物などを採集し、野生動物を捕らえ、日々の食料とする移動性の高い生活を営んだと考えられています。



模様によっても時代がわかります!!

*宍勝寺北裏遺跡…縄文時代草創期 (15,000年～10,000年前)

爪形文…爪痕のような模様

回転縄文…縄を転がして間欠的に押し付けた文様

*浅見山I遺跡…縄文時代早期 (9,000年前～6,000年前)

撚糸文…棒に縄をまきつけて回転させた文様

押型文…棒に山形や楕円形の模様を彫刻したものを
回転させた文様

～3,000年前が縄文時代です。1万年以上も
つづいたんですね。



さしばがたはに
翳形埴輪

ゆぎがたはに
鞞形埴輪



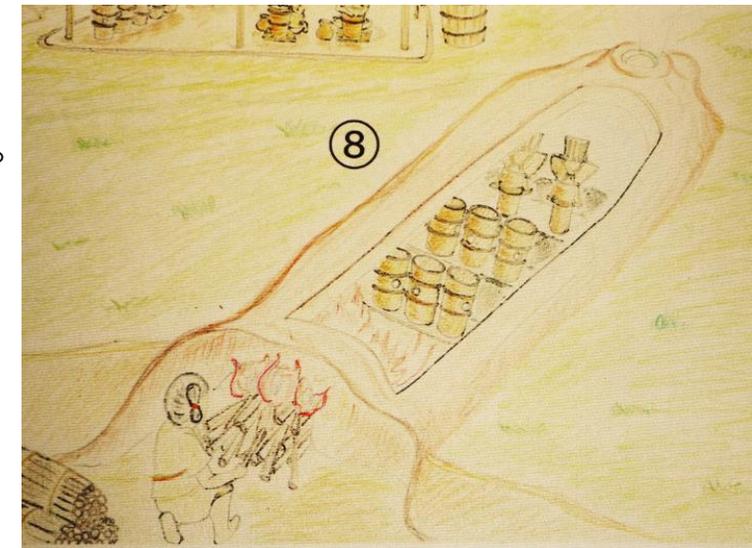
さしば きぬがさ
翳は蓋や帽子とともに重要な
威儀具で、葬られた人物の権
威を表すものと考えられるそ
うです。

翳…鳥の羽や絹を張ったうちわ形のもの
に長い柄をつけた道具。貴人の行列
などでさしかけ威儀を正した。
蓋…神社や皇室の儀式で使用する柄の長
い傘のような祭具。
鞞…矢を入れる道具。
威儀具…権威の象徴。
祭儀の場において中心人物の威儀を
正すために使用された重要な道具。



宍勝寺裏埴輪窯跡

6世紀後半の埴輪を作っ
ていた窯跡から出てきました。
鞞は矢を収納する道具です
が、鏃が上、矢羽を下にす
るのがはにわでは一般的で
す。窯跡からまとまってで
てきたということは、古墳
に出荷されずに遺棄された
ようです。



■ ゆうしょうじうら宥勝寺裏あざみやま埴輪窯跡出土のゆぎがた靱形埴輪

宥勝寺裏埴輪窯跡はあざみやま浅見山丘陵北側の斜面に展開する古墳時代後期の埴輪製作遺跡です。調査の結果、5基の埴輪窯跡が検出され、このうち1号窯跡のたきぐち焚口付近から、靱形埴輪4点がまとまって出土しました。

靱は矢を収納し、背負って運搬するための武具で、埴輪では矢羽を下にして、やじり鏃が見える状態を造形することが一般的です。鏃の表現には、ねんどひも粘土紐の貼付によるものと、刻線によるものがみられます。

1号窯跡で出土した靱形埴輪は、焼成時に破損したために、古墳には運ばれず、まとめて遺棄されたものと推測されます。



宍勝寺の南にあった西光寺跡より出土

鎌倉時代
1、200年代のもの

国内製のほかに、中国製のもの
もあります。



こくゆうひろくちつぽ
黒釉広口壺
Glazed vase
大久保山寺院跡(栗崎)
鎌倉時代/13世紀
Kamakura period/13th c.



せとかいゆうへいし
瀬戸灰釉瓶子
Seto ash-glazed jug
大久保山寺院跡(栗崎)
鎌倉時代/13世紀
Kamakura period/13th c.



ぞうこつき
蔵骨器
Cinerary urn
大久保山寺院跡(栗崎)
鎌倉時代/13世紀
Kamakura period/13th c.

■ おおくぼやましんあと 大久保山寺院跡の出土品

浅見山丘陵の東谷地区に所在する大久保山寺院跡では、現在も建物跡と考えられる造成面を観察することができます。丘陵斜面からは、五輪塔や宝篋印塔などの石造物の一部や瓦質蔵骨器、蔵骨器に転用された黒釉広口壺、瀬戸灰釉瓶子などが出土しています。周辺には武蔵七党の一つ児玉党に関する伝承も多く、寺院の造営に地域の有力御家人層が深く関わっていたことが考えられます。

■ 鎌倉時代 ■

源平の戦いに勝利した源頼朝は、1185年、諸国に守護・地頭を任命する権利と兵糧を徴収する権利を獲得し、ついで1192年、征夷大将軍に任ぜられ、ここに武家政権としての鎌倉幕府が名実ともに成立しました。その後、將軍の執権となった北条氏が幕府の実権を掌握し、承久の乱（1221年）を経て全国に支配権を及ぼしていきました。しかし、後醍醐天皇らによる討幕運動が契機となり、1333年新田義貞らによって鎌倉幕府と北条氏は滅亡しました。

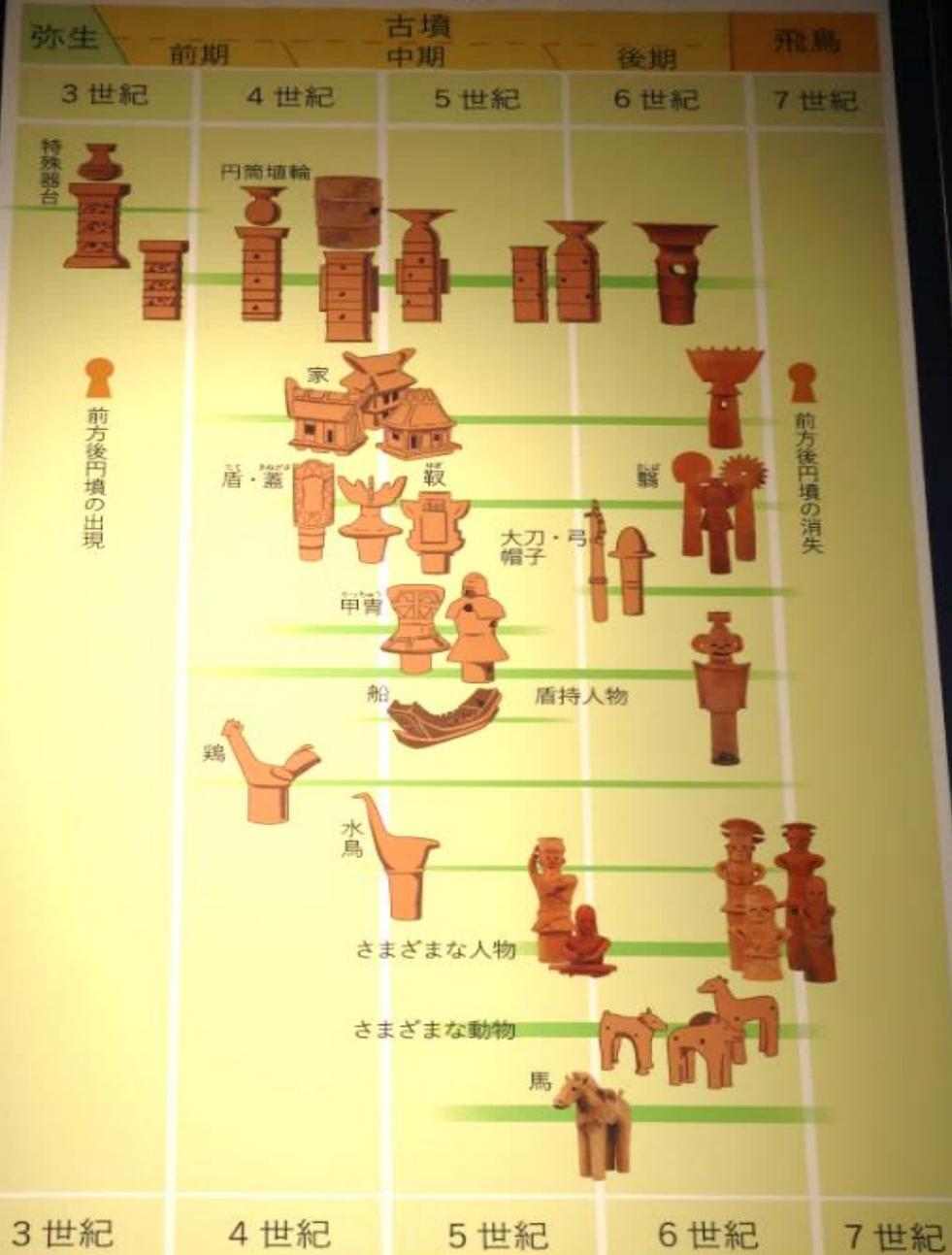
鎌倉時代の本庄は、幕府の基盤を支えた武士団である武蔵七党の一つ児玉党の本拠地でした。市内には武士たちが構えた多くの居館跡や寺院跡が残されています。



からくさもんのかきりびわら
唐草文軒平瓦
Andon pattern flat roof tiles

浅見山(遺跡) [早稲田大学蔵] (西園寺) 鎌倉時代 / 御家人
Andon pattern 13th c.

本庄埴輪年表



古墳から出土する埴輪には、円筒のほか家・器財・動物・人物など多くの種類があります。種類ごとに現れる時期が違い、地域性もあります。

家は屋根、壁、柱の形に違いがみられ、役割の異なる建物が表現されています。器財は道具をかたどった埴輪で、大刀や鞍などの武器・武具、翳や蓋といった威儀具があります。動物には鶏、水鳥、馬、犬、鹿、猪などがあり、鶏・水鳥などの鳥類が早くから現れます。盾持以外の人物は最も遅れて現れ、儀礼を司る女性や盛装の有力者、武人、力士など多様な役割がみられます。



マンホールの蓋
はにぽんとトゲウオ

左 汚水
右 雨水

本庄市のマスコット
キャラクターが埴輪の
はにぽんなので、関連
して古墳について触れ
てみたいと思います。

埼玉県の古墳が多い市町村 ベスト 3

1994年	2008年 合併後
1.美里町 562基	1.熊谷市 1000基
2.熊谷市 485基	2.本庄市 622基
3.東松山・本庄 462基	3.美里町 562基

全国で古墳が多い県

1. 兵庫 18841基
2. 鳥取 13459
3. 京都 13089
4. 千葉 12750
5. 岡山 11726
- ・
- ・
11. 群馬 4101
15. 埼玉 3077

北海道・青森・秋田・沖縄はなし

東日本の古墳ベスト10 (大きい順)

1.天神山古墳	210m	群馬県太田市
2.舟塚山古墳	186m	茨城県石岡市
3.浅間山古墳	171m	群馬県高崎市
4.茶臼山古墳	164m	群馬県太田市
5.稲荷山古墳	155m	群馬県藤岡市
6.梵天山古墳	151m	茨城県常陸太田市
7.七輿山古墳	145m	群馬県藤岡市
8.内裏塚古墳	144m	千葉県富津市
9.葦間山古墳	141m	茨城県筑西市
10.二子山古墳	138m	埼玉県行田市

身近なパワースポットハイキング

市民ニュース



16:29

2021.3.30 放送



3月30日はケーブルテレビが取材に来て、市民ニュースの時間に放送されました。











大久保山 マリーゴールドの丘
イルミネーション

おしまい

NPO法人本庄ファンクラブ
今井玲子